



2025年は前進・成長の年!

明けましておめでとうございます。今日から3学期が始まりました。16日間の冬休み、みなさんはどのように過ごしたでしょうか? 3学期もともに頑張っていきましょう。▼2025年は巳年ですが、実は「干支」と「十二支」は別の意味があることをみなさんは知っているでしょうか? 「干支=十二支」と思っている人が多いと思いますが、実は干支とは十二支と十干を組み合わせたものを言います。十二支(子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥)は12年周期で繰り返され、古代中国で時刻や方角、年を表すために使われていました。一方、十干は(甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸)の総称で、古代中国の暦法で順序や番号を表していました。これら十二支12種類と十干10種類を組み合わせたものが干支で全部で60種類あるのです。今年(2025年)は十二支でいうと「巳」、十干では「乙」の年となり、干支は「乙巳」となります。▼今年の十干である「乙」は「しなやかに伸びる草木」のことを指します。草木は時間をかけて花を咲かせ実をつけることから、「**困難な状況にあっても紆余曲折しながら、根気よく粘り強く進む忍耐力**」や



「**周囲との協力や調和、チームワーク**」を象徴すると言われていています。▼一方、今年の十二支『巳』とは蛇のことです。蛇と言うと「怖い」とか「不気味」という印象を持つ人が多いかもしれませんが、実は「**新しい自分に生まれ変わる**」・「**幸せな未来をつかむ**」というポジティブなイメージもあるのです。それは、蛇が「脱皮」を繰り返し、成長していく生き物であること。ゆっくりとしなやかに曲線を描きながら前進する蛇の動き方が「**変化する環境に柔軟に対応する力の象徴**」と言われていることに由来します。▼「巳」にも「乙」にも共通するのは、しなやかさや柔軟性、そして成長というキーワードです。「乙巳」の年は成長するのに持って来いの年と言うことができるのです。▼過去の「乙巳」の干支の年には、「大化の改新(645年中大兄皇子と中臣鎌足が蘇我氏を滅ぼした国政改革)」や「1965年、前年に開催された東京オリンピックの余韻が残る中、日本の経済発展が急加速」するなど、「再生」・「成長」を象徴する出来事が実際に起きています。▼2025年がみなさんにとって「しなやかに前進し成長する」1年となることをお祈りしています。



冬休み全校学習会



今年度の冬休みは、これまでの学年ごとの学習会に変えて全学年一斉の学習会を3日間に渡って行いました。

▼3日間の学習会には延べ28人の生徒が参加しました。特に参加者が多かったのが最終日で全校生徒の5分の1にあたる13人が参加し、冬休みの宿題の仕上げや受検に向けて頑張っていました。▼学習会に参加した人たちは、友だち同士で教え合ったり、先生に気軽に質問したり、



自分のペースでやりたい勉強を黙々と頑張ったり、それぞれがそれぞれのペースで有意義な時間を過ごしていたように思います。▼今回の全校学習会は、部活動や面接練習等と被ってしまい、参加できなかったのに参加できなかった人もいたかもしれませんが、2時間×3日間という限られた時間ではありましたが、参加した生徒のみなさんの様子を見ると「**受検は団体戦**」の雰囲気全校体制で作るのにぴったりな機会であると感じました。3学期が始まってからも、このような時間を生み出せたらいいなあと思うほど、充実した時間になったと感じました。▼さて、今日からいよいよ3学期が始まりました。3年生は42日間、1・2年生は49日間の3学期となりますが、3年生は進学に向けて勝負の時間となります。また、1・2年生は進級に向けての準備に大切な時間となります。慌ただしい学期となることが予想されますが、学生の本分である学習はもちろんのことすべての活動において、三珠中生らしく何事にも精一杯頑張っていきましょう。